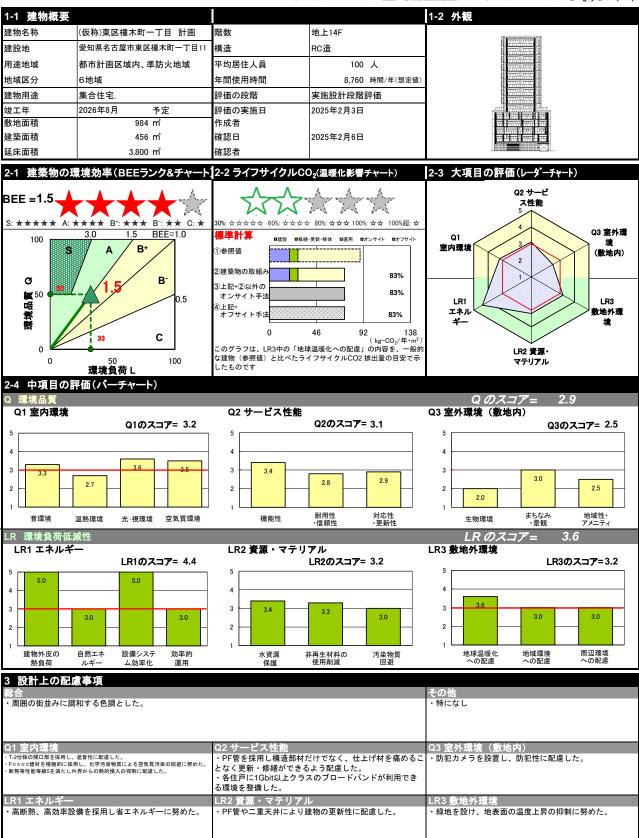
CASBEEhyouka6_144.xls 結果

【八SBEE 名古屋 Ⅰ評価結果

使用評価ソフト: CASBEE Nagoya_2016(v3.0



- ■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency(建築環境総合性能評価システム) ■Q: Quality(建築物の環境品質)、L: Load(建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction(建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency(建築物の環境効率)
- ■「ライフサイクルCO2」とは、建業物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【八SBEE 名古屋 ■評価結果■

重点項目スコア・結果シート

(仮称)東区橦木町一丁目 計画

■使用評価マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

| 重点項目 | | 評価 | 全体に対する 重み係数 | 重点項目 スコア |
|----------------|--|-----|----------------|-------------|
| 1. 温暖化対策 | | | | 4.1 |
| LR1 | エネルギー | 4.4 | 0.4 | |
| LR3.1 | 地球温暖化への配慮 | 3.6 | 0.1 | |
| LR3.2.2 | 温熱環境悪化の改善 | 3.0 | 0.05 | |
| 2. 自然共生 | | | | 2.3 |
| Q3.1 | 生物環境の保全と創出 | 2.0 | 0.09 | |
| Q3.3.1 Q3.2 | 地域性への配慮、快適性の向上 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ | 無 | 0.009 | |
| Q3.3.2 | 敷地内温熱環境の向上 | 3.0 | 0.045 | |
| 3. 循環型社会 | | | | 3.3 |
| LR2.1 | 水資源保護 | 3.4 | 0.06 | |
| LR2.2 | 非再生性資源の使用量削減 | 3.3 | 0.18 | |
| LR3.2.3 | 地域インフラへの負荷抑制 ※2 | 3.0 | 0.01875 | |

| 結果 1. 温暖化対策 | 評価点 = 4.1 | |
|----------------|-----------|--|
| | | |
| 2. 自然共生 | 評価点 = 2.3 | |
| | | |
| 3. 循環型社会 | 評価点 = 3.3 | |
| | | |

重点項目のスコアは以下のように算出している。

重点項目スコア= (評価点×全体に対する重み)の総和 全体に対する重みの総和

※1 ここでは、Q3.3.1の評価する取組みのうち評価項目 I2)地域性のある材料の使用 又は、Q3.2において評価 する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない 場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ 3.3.1の全体に対する重みに0.2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。